

Vol.54 December 2011

Shinko Hospital

# Medical News

<http://www.shinkohp.or.jp/>

発行:医療法人社団 神鋼会 神鋼病院  
〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1丁目4-47 電話:078-261-6711(代表) FAX:078-261-6726  
発行責任者:病院長 山本正之 編集責任者:神鋼病院広報委員会 委員長 山神和彦



## なぜピンクリボンなの？

10月は乳がん月間で、ピンクリボン月間とも言われています。ピンクリボンは乳がんの正しい知識を広めること、早期発見のための乳がん検診を推進することを目的として行われる世界規模の啓発キャンペーンです。

日本でも、誰もが知るようになったピンクリボンですが、何故ピンクリボンであるかのいわれを知っておられる方は少ないでしょう。いわれは複数あるようですが、その中の一つを紹介します。

「1980年代のアメリカで母親が乳がんにて死亡した娘に、実の祖母が同じ悲しみを繰り返さないよう、願いを込めてピンク色のリボンを手渡した。この行為が、乳がんについて考えるきっかけとなり、この町の住民から、米国全土に、さらに世界中に広まっていった。」

## 爆発的に増加の一途をたどる乳がん患者数

本邦において、乳がんは1996年より女性の癌で最も罹患率が高く、3～4年前までは女性20名に1人の割合で罹患と提示していたのが、今や16名に1人と訂正され、爆発的に増加の一途をたどっています。

さらに、罹患率が高い欧米医療先進国(8名に1人が罹患)では死亡率は減少しているにも関わらず、日本の死亡率は増加しています。欧米医療先進国

と同等以上の乳がんの診断や治療ができる日本で、何故このような現象が生じるのでしょうか？

原因のひとつに、我が国の乳がん検診率の低さが考えられます。欧米では罹患率の高い乳がんは日常の疾患としてとらえられており、7～8割の検診率ですが、本邦では約2割です。乳がんは早期診断する事で、当然予後が改善することが可能です。

そういった背景から、年々本邦においてのピンクリボン運動による啓発が盛んになっています。

## ピンクリボンフェスティバル・スマイルウォークに参加

さて、前述しましたように、10月はピンクリボン月間で、ピンクリボンフェスティバルが開催されます。神戸はピンクリボンフェスティバルの中心地の一つで、例年スマイルウォーク(仙台、東京、名古屋、神戸)やシンポジウム(東京、



参加した当院の看護師たち

神戸)が催されています。

今年のスマイルウォークは10月

16日に東遊園地を出発点とし、5km、10kmコースを歩行しました。ピンクリボンのメッセージを発信するため、当院スタッフも参加し、力強く歩行しました。

また、翌週10月23日には兵庫県乳が



乳がん患者さんの会にて講演

ん患者さんの会(第18回QOL“輪唱”兵庫)が神戸国際会議場メインホールにて開催されました。私も主催者に任命されており、本年は乳がんの新薬についての講演を行いました。

そして最後の質問タイムに再度登壇し、会場に来られた患者さんからの質問アンケートに回答しました。



Kazuhiko Yamagami

### PROFILE

神鋼病院 乳腺センター

センター長 山神 和彦

- 神鋼病院乳腺科 部長
- ・日本乳癌学会認定医
  - ・日本外科学会認定医及び専門医・指導医
  - ・日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医
  - ・マンモグラフィ検診精度  
管理中央委員会読影認定医
  - ・日本臨床腫瘍学会暫定指導医
  - ・日本癌治療認定医機構暫定教育医

必ず根治を目指す時期が  
来ると信じて

乳がんは毎年のように既存の薬剤と作用機序が異なる抗がん剤、分子標的薬剤、ホルモン剤が登場しています。

薬物治療の考え方も、癌の発現遺伝子を背景に薬剤を使い分ける薬物の「個別化治療」に進んでおり、最も治療概念の進んだ癌腫であります。Cancer Stem Cell(癌幹細胞)理論、転移のメカニズムの解明も大きくステップアップしており、近い将来遠隔転移癌が存在しても、根治を目指す時期が来ると信じます。

さて、新規抗がん剤が出れば患者さんの予後が改善されるのは事実で、FDA(アメリカ食品医薬品局)によっても実証されています。今回の新薬の紹介により患者さん、ご家族から「勇気づけられた」との感想もいただきました。

私にとって最も印象的なセクションは、自己体験を発表されるセクションです。乳がんを宣告され、落ち込み、立ち直り、治療に邁進、その後の転移再発でさらに深い奈落へ。刻々と変化していく心情、そして取り巻く家族・仲間からのサポート。聞いていると涙が出るような出来事ですが、立ち向かい、前

向きな考え方になられる事は感銘を覚えます。

兵庫県は 47 都道府県で  
最低の検診率

さて、神戸地区はピンクリボン活動の盛んな地区として紹介しましたが、2007年の乳がん検診率となると、兵庫県は約14%で、都道府県で最低値となっています(グラフ1)。乳がん検診無料クーポン等の対策により、2010年では検診率の上昇を認めますが、まだまだ、最低ラインに変わりありません(グラフ1)。

平成23年7月より兵庫県がん診療連携拠点病院となった本院は、癌診療を基軸に据え、地域医療に貢献することが理念です。乳腺科では、多くの紹介患者さんが来院され、本年度も200例以上のペースで乳癌手術が施行されております。

個別化治療とチーム医療が  
乳がん診療の基盤

現代における乳がん診療の基盤は、我々も以前から提唱してきた「個別化治療」と「チーム医療」です。本科の特筆すべき「個別化治療」は、より精度が高く低侵襲に腋窩のセンチネルリンパ節(一番最初に転移するリンパ節)を

同定できる、ICG蛍光を利用したセンチネルリンパ節生検の開発・応用です。これは手術における「個別化治療」と考えています。

本方法は、現在国内約300施設、さらに海外にも導入され、広く認知されるようになりました。

また「チーム医療」は形成外科と連携した乳房再建です。県内外の乳がん専門病院から、同時再建目的で患者さんが本院へ紹介されています。

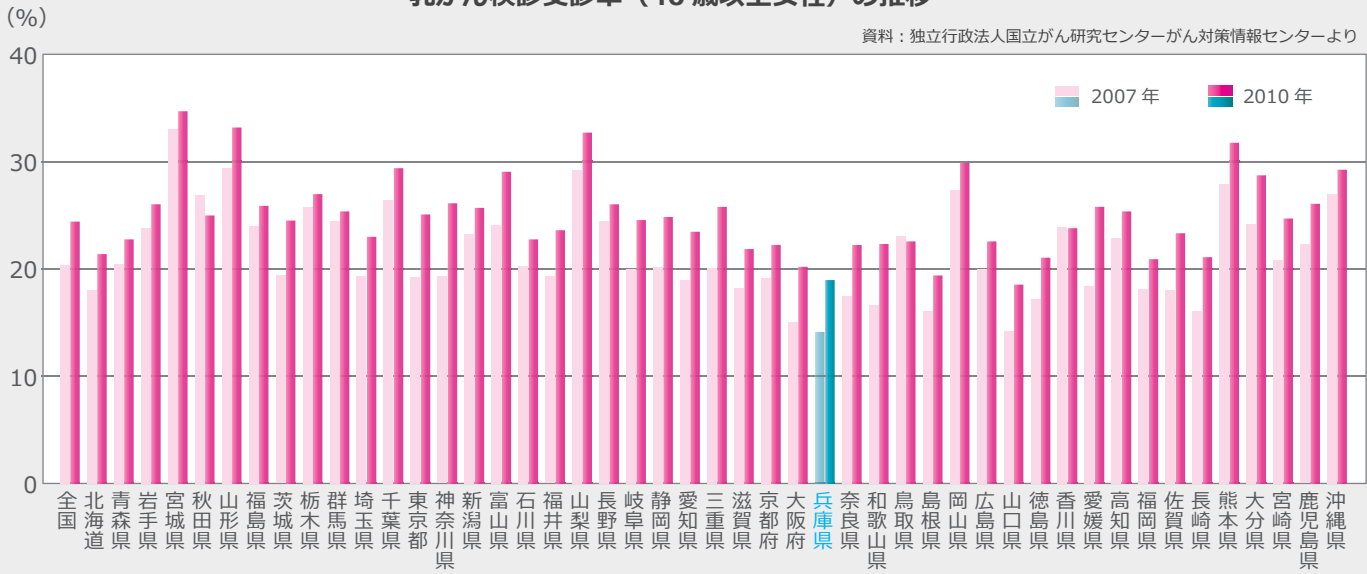
次年度からは、本院独自の患者さんの会も予定しており、ますます患者さんにとって充実した環境を構築させる計画です。

地域で連携しピンクリボン運動  
のバックアップに協力を

さらなる次のステップは、いかに神戸地区を乳がん対応先進地区にあげていくかです。ピンクリボン活動の盛んな兵庫県、しかし都道府県最低の検診率。この文章を読まれている先生方、そして地域の病院、検診センターと連携し、乳がん検診率を上げ、ピンクリボン運動のバックアップを強力にしていける事が重要と考えます。我々も微力ながら頑張りますので、先生方のご協力宜しくお願申し上げます。

乳がん検診受診率 (40歳以上女性) の推移

資料：独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センターより



## 感染制御認定薬剤師・がん薬物療法認定薬剤師のご紹介



### 感染制御認定薬剤師

Board Certified Pharmacist in Infection Control

診療技術部薬剤室  
主任 瀧本 麗子

日本病院薬剤師会から感染制御認定薬剤師の認定を取得しました。3年以上感染対策チームの一員として活動していること等の条件があります。医療の高度化に伴い、病院の感染対策も医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師の専門知識を集約して進化する必要があります。

恵まれた仲間と共に院内の感染対策を更に充実させ、地域のICTの皆さんと情報交換できるような環境が出来たらいいと考えています。

薬剤師として、『くすり』の面から今まで以上に感染制御に関わり、より良い医療の場を提供できるように微力を尽くします。



### がん薬物療法認定薬剤師

Board Certified Pharmacist in Oncology Pharmacy

診療技術部薬剤室  
山内 寛子

がん薬物療法認定薬剤師の認定条件は、薬剤師実務経験5年以上、認定された研修施設での3カ月の研修、複数のがん腫の薬剤管理指導50例の症例報告、認定試験の合格などがあります。

この資格を取らせて頂く過程の中で学んだ知識と技能、経験させて頂いた貴重な症例は、私の薬剤師としての大きな財産となっています。この経験を生かしてより多くの患者さんにお役に立てるよう、日々精進したいと思っています。また、専門的な知識だけでなく、患者さんやスタッフとのコミュニケーションを大切にし、安全で快適ながん化学療法を行えるよう貢献していきたいと思っています。

## 東神戸 総合内科講演会のご案内

■日 時：2011年12月1日（木） 19:00～

■会 場：神鋼病院 3階 講堂

■特別講演『腎臓病と今思うこと』

座長：神鋼病院 副院長 鈴木 雄二郎

演者：日本赤十字社 和歌山医療センター

腎臓内科部副部長・医療技術部長・健診部長

東 義人 先生

・日本医師会生涯教育認定講座2単位申請  
・軽食をご用意しております

## 第10回神鋼外科フォーラム

■日 時：2011年12月22日（木） 18:15～

■会 場：神鋼病院 3階 講堂

■一般演題『当院肝胆膵外科の現状』

演者：神鋼病院 肝胆膵外科 部長 藤本 康二

■教育講演：『肝移植と最近の外科医の動向のお話し』

座長：神鋼病院 副院長 東山 洋

演者：京都大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科

教授 上本 伸二 先生

・日本医師会生涯教育認定講座2単位申請  
・軽食をご用意しております

お問い合わせ先：神鋼病院 地域医療連携室 TEL：078-261-6739

### 神鋼病院理念

地域医療に貢献し、  
信頼される病院を目指します。

### 基本方針

1. 患者さんの立場にたった「あたたかい」医療を提供します。
2. 個人の尊厳と生活の質を重視した医療を実践します。
3. より良い医療を提供するために、常に学・技の研鑽に励みます。
4. 全ての領域における医療安全に最大限の注意を払います。
5. 快適で清潔な医療環境の構築に努力します。